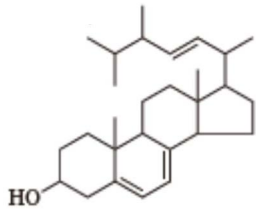
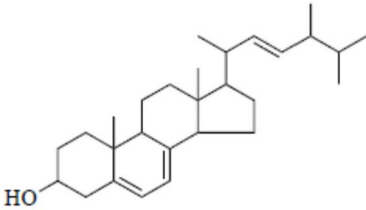
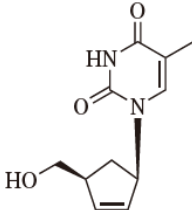
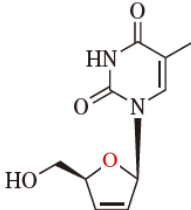


「第7版 薬科微生物学」 正誤訂正

【初刷】 該当箇所の手印は行数を示す。↓は上から、↑は下から数える。

ページ	該当箇所	誤	正
16	表 2・11 見出し	(左から 2 番目) 拡散	(左から 2 番目) 核酸
20	図 3・6 タイトル	グラム陽性菌とグラム陰性菌の細胞表層構造	グラム陽性菌(左)とグラム陰性菌(右)の細胞表層構造
39 左段	↓ 17	$H_2O_2 \rightarrow 2 H_2O + O_2$ (カタラーゼ catalase)	2 $H_2O_2 \rightarrow 2 H_2O + O_2$ (カタラーゼ catalase)
58 右段	↓ 11	… pattern recognition receptor (PPR) に, …	… pattern recognition receptor (PRR) に, …
70 左段	↓ 16	mRNA とともに 転移 translocation し, …	mRNA とともに 転位 translocation し, …
102 左段	↓ 10	cholera- redreaction	cholera- red reaction
111 左段	↓ 21	(staphylococcal cassette chromosome <i>mec</i>)	(staphylococcal cassette chromosome <i>mec</i>)
114 図 7・7 の説明	↓ 3 ↓ 4~5	カルモジュリン依存性, アデニル酸シクラーゼ (MAPKK) により細胞死が起こる.	カルモジュリン依存性の アデニル酸シクラーゼ (MAPKK) の 分解 により細胞死が起こる.
121 右段	↑ 4	, 母体から胎児への 水平 感染による	, 母体から胎児への 垂直 感染による
124 右段	↑ 1~2	, ニュー マクロライド系薬,	, マクロライド系薬,
156	図 9・7	GPT (下図矢印) の線が消えておりました.	
207	図 13・18	(2 段目 右端 → の上) 転写 (3 段目 右端 → の上) ペプチジルトランスフェラーゼ反応と 転写 の繰り返し	転位 ペプチジルトランスフェラーゼ反応と 転位 の繰り返し
219 左段	↑ 7~6 見出し	抗 <i>Clostridioides difficile</i> トキシン B ヒトモノクローナル抗体	13・1・8 抗 <i>Clostridioides difficile</i> トキシン B ヒトモノクローナル抗体

「第7版 薬科微生物学」 正誤訂正

ページ	該当箇所	誤	正
221 左段	図 13・41 エルゴステ ロールの構 造式 (間違いでは ないが上側の 側鎖は通常右 向きで表す)		
232	図 13・55 サニルブジン		
	図 13・55	テノホビル (TDF)	テノホビル (TFV)
235	図 13・61 上段右	アデホビル (ADV)	アデホビル ビボキシル 注) アデホビル ビボキシルも一般に ADV を略号として用いてい ますが、ここでは本文に準じて略号を省略します。
236	表 13・3 Genotype 2 型 2015 年	NS5B ポリメラーゼ阻害薬 BCV	NS5B ポリメラーゼ阻害薬 SOF

(2021.11.11 更新)